



(適用範囲)

第1条

当館が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。

2 当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先します。

(宿泊契約の申込み)

第2条

当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金
- (4) その他、当館が必要と認める事項

2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立)

第3条

宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当館が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2 前項の規定により宿泊契約が成立したときには宿泊期間(3日を超える場合には3日間)の基本宿泊料を限度として、当館が定める申込金を、当館が指定する日までにお支払いいただくことがあります。

3 申込金は、まず宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順で充当し、残額があれば第12条の規定による料金の支払の際に返還します。

4 第2項の申込金を同項の規定により当館が指定した目までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条

前条第2項の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条

当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室（員）により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき去
- (4) 宿泊しようとする者が、伝染病患者であると明らかに認められるとき。
- (5) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない理由により宿泊させることができないとき。
- (7) 三重県旅館業法施行条例第4条の規定に該当するとき。

(宿泊客の契約解除権)

第6条

宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。

- 2 当館は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により、当館が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます）は、別表第2に掲げるところによる違約金を申し受けます。

ただし、当館が第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当つて、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当館が宿泊客に告知したときに限ります。

3 当館は、宿泊客が連絡しないで宿泊日当日の午後6時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になつても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

（当館の契約解除権）

第7条

当館は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊客が伝染病看であると明らかに認められるとき。
- (3) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (4) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- (5) 神奈川県旅館業法施行条例第4条の規定する場合に該当するとき。
- (6) 寝室での寝たばこ、消防設備等に対するいたづら、その他、当館が定める利用税別の禁止事項（火災予防上必要なものに限る）に従わないとき。

2 当館が、前項の規定に基づいて宿泊を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

（宿泊の登録）

第8条

宿泊客は宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます○

- (1) 宿泊者の氏名、年齢、性別、住所及び職業
- (2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
- (3) 出発日及び出発予定時刻
- (4) その他、当館が必要と認める事項

（客室の使用時間）

第9条

宿泊客が、当館の客室を使用できる時間は午後2時から翌朝10時までとします。

ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き終日使用することができます。

2 当館は前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応ずることがあります。

この場合には、次に掲げる追加料金を申し受けます。

超過1時間ごとに宿泊客一人様あたり1,000円(消費税別)。

(利用規則の遵守)

第10条

宿泊客は当館内においては当館が定めた利用規則にしたがっていただきます。

(営業時間)

第11条

当館の主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクター等でご案内いたします。

(1) フロント、キャッシャー等のサービス時間

門限 午後12時

フロントサービス 午前7時00分より午後10時

(2) 飲食等(施設)サービス時間

朝食 午前7時-午前9時30分

中食 午前11時30分-午後3時

夕食 午後5時-午後8時30分

2 前項の時間は、必要やむを得ない場合には、臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払)

第12条

宿泊者が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。

2 前項の宿泊料等の支払いは、通貨または当館が定めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等、これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当館が請求したとき、フロントにて行っていただきます。

3 当館が、宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当館の責任)

第 13 条

当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当り、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、その限りではありません。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第 14 条

当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。

2 当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第 15 条

宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、当館がその種類及び価格の明示を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったものについては、10 万円を限度として、当館はその損害を賠償します。

2 宿泊客が、当館にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であって、フロントにお預けにならなかったものについて、当館の故意又は過失により滅失、毀損が生じたときは、当館はその損害を補償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価格の明示のなかったものについては、3 万円を限度として、当館はその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第 16 条

宿泊客の手荷物が、宿泊に先だって到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しいたします。

2 宿泊客がチェックアウトした後、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。

ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。

3 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当館の責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、前項の場合にあつては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車の責任)

第17条

宿泊客が、当館の駐車場をご利用になる場合、車輛のキーを寄託の如何にかかわらず、当館は場所をお貸しするものであつて、車輛の管理責任を負うものではありません。ただし、駐車場の管理にあたり、当館の故意または過失によつて損害を与えたときは、その賠償の求めに応じます。

(宿泊客の責任)

第18条

宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被つたときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。

別表第1

宿泊料金等の算定方法（第2条第1項、第3条第2項及び第12条第1項関係）

宿泊客が支払うべき総額

- (1) 宿泊料金 = 基本宿泊料（室料+朝・夕食料）
- (2) 追加料金 = 追加飲食（朝・夕食以外の飲食料）及びその他の利用料金
- (3) 税金 = 消費税

別表第2

違約金（第6条第2項関係）

契約解除の通知を受けた日

キャンセル料金表

	不泊	1日前	2日前	3日前	4～7日前	左記に関わらず予約後10日間経過後にキャンセルの場合
キャンセル料	100%	75%	50%	25%	10%	10%